

SDGs達成に向けた札幌宣言の実行

国際連携による

efficiency+sufficiencyの達成



Kaneka
カガクでネガイをカナエル会社

第56回秋季大会 特別シンポジウムSP-3

2025

9/18 木 13:00～17:00

場所

芝浦工業大学 豊洲キャンパス
教室棟301+オンライン

国際的な連携のもとでSDGsの達成をめざす研究は、地球規模の課題に対応し、人々の「健康・安心・幸福」の実現に不可欠です。本シンポジウムでは、環境・社会的課題の解決に向けたパートナーシップの好事例に関する招待講演に続き、学生による国際共同ワークを通じた研究提案の成果を発表します。シンポジウム後半では講演者、参加者、SDGs検討委員会委員を交えてのグループ討議を行い、化学工学会が掲げる「札幌宣言」をパートナーシップによって実現するための要点を見出していきます。

プログラム

13:00～13:10

趣旨説明

藤岡沙都子／慶應義塾大学

13:10～13:40

招待講演

宇宙からアジアの農地を見つめる

—先駆的なリモートセンシング技術で社会課題を解決に導く—



本郷千春／千葉大学 環境リモートセンシング研究センター

気候変動の適応策として期待される農業保険は食料安全保障のための重要な社会インフラとして運用されているが、運用後間もないインドネシアでは多くの課題があった。そこで、国際科学技術協力プロジェクトJST/JICA-SATREPSプロジェクトにおいて、空間情報を駆使した新たな損害評価手法をステークホルダーらと連携して構築した。講演では、プロジェクトの活動を中心に研究成果の社会実装の道筋について紹介する。

Keywords

- ・ Food Security
- ・ Agricultural Insurance
- ・ Remote Sensing

13:40～14:10

招待講演

“足るを知る経済”からひも解く、日本企業の役割



ガンタートン ワナワス／メディエーター

ラマ9世が提唱した「足るを知る経済」の理念をひも解きつつ、タイの工業化と経済成長を支えた日本企業の貢献を振り返る。そして近年、技術力のある日本と、資源豊富なタイが協業することで、バイオマスの有効活用等による新しいビジネスも生まれている。いま求められる日本企業の役割を、グローバルな視点から展望する。

Keywords

- ・ Japanese Company
- ・ Sufficiency
- ・ Thailand

14:10～14:20

APCChE student programの趣旨説明

野田 優／早稲田大学

14:20～15:00

APCChE student program参加学生による研究提案

15:10～16:35

参加型グループ討議、グループ討議まとめ

16:35～16:50

APCChE student program参加学生への修了証授与

永松治夫／化学工学会会長

16:50～17:00

シンポジウムのまとめ

若月正明／日本化学工業協会



主催／公益社団法人化学工学会 SDGs検討委員会

共同主催／地域連携カーボンニュートラル推進委員会

共催／産学官連携センター 男女共同参画委員会 CSR委員会

協

賛／



一般社団法人 日本化学工業協会
Japan Chemical Industry Association

後

援／



地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE



日本学術会議



秋季大会

札幌宣言



問い合わせ ▶ scej-sdgs@scej.org